

全校集会校長講話(5月7日)

校長 鈴木 健史

4月23日(火)～25日(水)の2泊3日で、3年生の修学旅行に同行しました。1日目は、浅草寺、国会議事堂(参議院)を見学し、横浜中華街で夕食を食べ、YOKOHAMA AIR CABIN(スキー場のゴンドラのような乗り物)で横浜の夜景を堪能し、東京ドームホテルに宿泊しました。2日目は、班別自主研修(6～7人)で、各班1台のスマートフォンを頼りに、大学や施設等を巡りました。朝、ホテルを出発し、夕方、東京スカイツリーに集合する形でした。スカイツリーからの眺望は残念でしたが、ほぼ初めての大都会を自分たちだけで電車を乗り継いだ経験は大きな自信につながったと思います。3日目はお待ちかねのディズニーシーです。約6時間の滞在でしたが暑いぐらいの快晴に恵まれて充実したようです。

ちょっと前の修学旅行のホテルでの班長、室長会議といえば、担当の先生が一方的に説明し、個々の生徒は聞き逃すまいと真剣な表情で臨むといった感じでしたが、今年の3年生の修学旅行は、生徒の代表が説明し、生徒同士で良かったところや改善点を発表し合い、良い意見にはみんなで拍手をして共有し、疑問に思うことは質問するというものでした。

今、社会でも大切にされているものは、このような「チームにおける協働」です。

チームでの話し合いに必要なのは、「探求的な問い」だといいます。「探求的な問い」とは、意図的なものであり、問題や状況、人についてより詳しく知ることを目的とするものだそうです。その話し合いの基本は、「他の人の発言に心から関心を寄せられるようになること」だそうです。この話し合いで発言することが、大人であるほど、好奇心旺盛な人であるほど難しいのだそうです。「もう知っている」という認知バイアス(自分の経験や体験といった、認知に基づいた先入観や思い込み)にかかりやすいからだそうです。結果として、他の人にはどう見えているのだろうと思いを巡らすことができなくなり、関心をもてなくなってしまうのだそうです。質問したら無知、無能に見られてしまうのではないかという不安を払拭できず、聞くことも尋ねることもできなくなってしまうのだそうです。

今までの常識では通用しない、予測が難しい時代を生き抜いていこうとしたとき、一人で考えるよりも、より多くの人の頭脳で考えた方がいいに決まっています。時にはAI(人工知能)だって取り入れた方が合理的でしょう。意図的な話し合いで、問題や状況等を詳しく把握し、チームとしての話し合い(協働)がとことんなされ、合意した行動により成果が出たならば、おそらく、一人では到達することのできないレベルの高い成果となるはずです。

チームとしての話し合い(協働)がとことんなされるためには、チーム内一人一人の心理的安全性が保障されなくてはなりません。その質がどうであれ、チーム内で誰もが自由に自分の考えを披露でき、発言したことに感謝されなくてはなりません。チームとしての失敗は一人の責任ではなく、むしろ、失敗したことが重要視される必要があります。うそ等のルール違反には厳しく対処されなくてはなりません。

将来、大人になって社会に求められる人材となるためには、中高生のうちに、チームの中で、自分なりの考えが言えること、他の人の発言に心から関心を寄せられるようになること、失敗を受け入れ、成功をチームで喜び合える経験が大切です。中学校は「大人になる」ところです。人の揚げ足をとったり、いじめをしたり、独りよがりな姿勢や態度で物事に臨んでいたのでは将来、社会で役立つだろう力が身につきません。毎日の学校生活の中で、意識して取り組んでいきましょう。

リニューアルした新生「一中 WALK」

5月10日（金）に一中WALKが行われました。当日は天候に恵まれ、雨の心配をせずにスタートすることができました。今年度は、ウォーキングをとおして共に励まし合い仲間同士の絆を深めることだけでなく、地域貢献活動を通して地域の環境にふれていくことをねらいに加えて、コースや活動内容を一新しました。出発式では、鈴木学校長の全校生徒へのかけ声、ボランティアスタッフとしてご協力くださる保護者や地域の方々へ挨拶を行い、完歩、地域貢献への強い気持ちを全員で共有しました。

ウォーキングでは、学年の違いに関係なく、お互いに励まし合い協力しながら粘り強く歩く姿が多く見られました。生徒会スローガンである「主役」のもと、新たな一中WALKの歴史を刻む主役となった、とても貴重な1日となりました。

朝早くから生徒のお弁当等を準備してくださった保護者の皆様、またボランティアスタッフとして生徒の安全を見守ってくださった保護者、地域の皆様、御協力ありがとうございました。



生徒会スローガン決定 生徒総会

5月20日（月）に、生徒総会が行われました。生徒会スローガンが「主役 ～想造 挑戦 自信～」に決定しました。このスローガンには、

「想造」・・・漢字は、想像の「想」と創造の「造」を組み合わせた造語です。1人1人が「主役」になるために、相手のことに想いをめぐらしながら、行事や環境を造り出します。

「挑戦」・・・想造したことに挑戦することで、一中生全員の団結力や尊重の意識が強まります。また積極性も高まり、一人一人が主役としての意識をもつことにつながります。

「自信」・・・想造し挑戦することで自分に自信をもち、新たに想造力が向上し、積極的に挑戦ができるようになり、一中生全員が主役としての意識をもつことにつながります。

という願いが込められています。このスローガン達成に向けて、全校生徒一丸となって頑張っていきます。



今年もあいさつ運動を行います。

5月8日(月)～12日(金)に村上第一中学校区の第1回あいさつ運動が行われました。今年度は、各学校でのあいさつに力を入れることとし、生徒玄関や校門周辺を中心に中学校でのあいさつ運動となりました。風紀委員を中心に自主的に参加する生徒もおり、さわやかなあいさつが交わされました。

第2回以降のあいさつ運動は以下の予定で行われます。地域の方々にも参加していただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

第2回	7/8(月)～7/12(金)	第3回	10/15(火)～10/18(金)
-----	----------------	-----	-------------------



スクールカウンセラーに相談してみませんか？

本年度、村上第一中学校にスクールカウンセラーのSYさんが着任しました。原則として毎週金曜日の午後に出勤します。悩みごとがあるときは、担任や学年の先生だけでなくSYさんに相談することができます。保護者の皆様も、お子さまのことでお困りのことがある時は、気軽に相談してみてください。

- 1 生徒の相談申込の方法は、原則として事前申し込みによる「予約型」とします。
 - (1) 『対面』による相談について
以下の「来校予定日」から、自分の相談希望日を選び、学級担任に申し出てください（緊急の場合を除き、相談時間は放課後となります）。相談場所は、A棟3階の通級指導教室です。
 - (2) 『手紙』による相談について
直接会って相談はしにくいですが、手紙なら悩みを打ち明けられるという人は、手紙を書いて封筒に入れて、学級担任に渡してください。後日、スクールカウンセラーから本人に手紙（希望により面談の案内）が届くようにします。
- 2 保護者の方の相談申込方法は、担任または、担当の水澤教諭に電話等で連絡ください。日程を調整し、後日連絡いたします。

【1学期】

5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日	7月19日
-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------

【2学期】

8月30日	9月6日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日
11月1日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月6日	12月13日	12月20日

【3学期】

1月10日	1月17日	1月24日	1月31日	2月7日	2月14日	2月21日	2月28日	3月7日
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------

拠点校指導教員の先生が着任されました。

本年度、当校の新採用教諭の指導にあたるための拠点校指導員、YM先生が着任されました。

今年度から初任者研修拠点校指導教員として、ほぼ毎週水曜日に村上第一中学校に参ります。K先生との研修、そしてフォローアップが業務です。生徒の皆さんと直接ふれあう機会は少ないですが、よろしくお願いたします。



6月の主な予定

3	月	専門委員会（前回の委員会で終わらなかった一部の委員会）
5	水	午後授業参観（放）下越大会激励会 第2回PTA理事会
7	金	下越地区総合体育大会 1日目
10	月	全校集会
11	火	職員会議
12	水	下越地区陸上競技大会（12・13日）
14	金	耳鼻科検診（1年・2年1組）
17	月	薬物乱用防止教室（2年生、6限）
19	水	耳鼻科検診（2年2,3組・3年生） 専門委員会
21	金	下越地区総合体育大会 2日目
22	土	下越地区総合体育大会 3日目
24	月	生徒集会
25	火	職場体験2年生 ~27(水)まで
26	水	内科検診3年
27	木	内科検診1年
28	金	内科検診2年

